

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、下記検査項目におきまして、検査の受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

敬 白

記

《検査項目》〔2149〕 特異的IgE Asp f 1
(アスペルギルス由来コンポーネント)

《受託 開始日》 2021年10月25日(月) 受付分より

《検査要項》

項目コード	項目名	検体量 mL	保存 条件	採取 容器	実施料 判断量	所要 日数	検査方法	基準値
2149	特異的IgE Asp f 1 (アスペルギルス由来)	血清 0.3	冷蔵	A	110 免疫	2~3	FEIA法	クラス0 0.34UA/mL 以下

◆ Asp f 1とは？

Asp f 1は、アスペルギルスアレルゲンコンポーネント(Aspergillus fumigatus から抽出されるタンパク質の中の単一のタンパク質)の1つであり、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症(ABPA: Allergic bronchopulmonary aspergillosis)の発症原因であるAspergillus fumigatusの主要アレルゲンです。アスペルギルス感作喘息群(ABPAが否定されたアスペルギルス検査陽性の喘息症例)及びABPA群における臨床性能比較では、Asp f 1は臨床的特異度に優れています。Asp f 1への感作はアスペルギルスの気道内腐生を示唆することから、ABPAの診断補助として治療判断に有用な検査です。また、アスペルギルスと Asp f 1 の両項目を組み合わせて検査することで、より正確な診断に寄与します。